

257) ^{しあわ} 倖せチケット

まだ短大に通ってた頃 海外旅行のお金ほしくて
店に張られたポスターを見て ウェートレスのアルバイトした
夜遅くまでエプロンかけて お店の中を駆けずり回った
そんなあるときお客さんから 映画の券を2枚もらった

わたしの見たいトムハンクスの フォレストガンプのチケットだった
次の休みにクラスメートと 有楽町に見に行ったけど
このチケットが子供の頃から ずっとずーっと夢に見ていた
外国へ行くチケットだとは これっぽっちも気づかなかった

しばらくたって同じ人から ピーターパンに誘われたので
渋谷の駅で待ち合わせして 青山通りをふたりで歩いた
このとき彼が大手商社の 営業マンで32歳
日本語よりも英語のほうが 得意なのだと初めて知った

彼はしばらくレストランには 来なかったけど電話があった
3カ月ほどロスにいるから 夏休みには遊びに来いと
しばらくたってユナイテッドの 航空券が送られてきた
アルバイトして貯めたお金は 急にいらなくなってしまった

少し不安もあったけど わたし一人でロスまで行った
クラスメートに応援されて 今ではめでたく彼の奥さん
ひとまわりもの年の差だけが 気になったけどすごく倖せ
トムハンクスの映画の券が 彼とわたしを結んでくれた